

7 都 薬 保 発 第 15 号
令和 7 年 12 月 3 日

地区薬剤師会

医療保険ご担当者 様

公益社団法人 東京都薬剤師会
副 会 長 根 本 陽 充

**処方箋集中率と地域貢献の関連性に関する緊急調査
(調査協力依頼)**

平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、中医協において来年度改定の議論が佳境を迎えております。その中で、都市部にある特定の医療機関からの処方箋集中率が高い薬局については、運営が効率的であり、小規模乱立の状況も含め、適正化の必要性が指摘されています。しかしながら、都市部にあり、集中率が高い薬局であっても地域貢献をしている薬局や地域医療を支えている薬局もあり、それだけをもって判断することはできません。

このため、本会では、処方箋集中率にかかわらず、会員薬局が日常的に担っている地域活動や連携の実績を把握し、地域医療への理解と評価の促進につなげることを目的として、緊急調査を実施いたします。

つきましては、下記のとおりアンケート調査を行いますので、貴地区会員薬局への周知とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

師走のお忙しい中、誠に恐縮ではございますが、来年度改定に向けた重要な調査でございますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調 査 名 : 処方箋集中率と地域貢献の関連性に関する緊急調査
アンケート回答期限: 令和 7 年 12 月 3 日 (水) ~ 令和 7 年 12 月 10 日 (水)

入 力 先 : 以下の Google フォームよりご回答ください

<https://forms.gle/uFHedTfkwiVqSAbx6>

「QR コード」からもアクセス可能です。



※ご回答いただいた内容は統計的に処理し、個別の薬局名等が公表されることはありません。

担当事務局: 医療保険課

【緊急調査】処方箋集中率と地域貢献の関連性に関する緊急調査

目的：処方箋の医療機関集中率と地域貢献の実態との関連性を明らかにする

期間：令和7年12月3日（水）～12月10日（水）まで

方法：Google フォームを活用したアンケート

Google フォーム

★質問

令和7年11月時点の状況でご回答ください。

①地区

②薬局の開局年数

※該当する項目を選択してください

- ・1～5年
- ・6～10年
- ・11～20年
- ・21年以上

③調剤基本料の届出状況

※該当する項目を選択してください

- ・調剤基本料1（45点）
- ・調剤基本料2（29点）
- ・調剤基本料3-イ（24点）
- ・調剤基本料3-ロ（19点）
- ・調剤基本料3-ハ（35点）
- ・特別調剤基本料A（5点）
- ・特別調剤基本料B（3点）

④処方箋集中率

特定の保険医療機関に係る処方箋による調剤の割合（単一で一番高いもの）

※該当する項目を選択してください

- ・85%未満
- ・85%以上～90%未満
- ・90%以上～95%未満
- ・95%以上

⑤地域支援体制加算（1，2，3，4のいずれか）の届出状況

※該当する項目を選択してください

- ・届出あり
- ・届出なし

⑥かかりつけ薬剤師指導料の届出状況

※該当する項目を選択してください

- ・届出あり
- ・届出なし

⑦算定/届け出によらず、日常業務で対応しているものご回答ください（直近 1 年間の実績）

※該当する項目を選択してください

- ・時間外や休日の対応
- ・麻薬の調剤
- ・在宅業務の実施
- ・小児在宅の実施
- ・服薬情報提供書の発信
- ・学校薬剤師（勤務者含む）の委嘱
- ・コロナ検査キットや妊娠検査薬等の販売・相談
- ・地域の多職種との連携会議などへの参加
- ・近隣基幹病院等との薬・薬連携会議や協議会への参加
- ・休日診療所等(休日輪番体制を含む)への協力
- ・地域医療提供体制・地域医薬品提供体制の把握と整備（薬局リスト掲載や医薬品在庫の共有など）への協力
- ・災害時用備蓄医薬品（ランニングストックなど）への協力
- ・地域の防災訓練等への参加
- ・行政施策(クールスポットなど)への協力
- ・地域のお薬相談会への参加
- ・薬局での相談対応や他機関（地域包括支援センターや福祉事務所、保健所等）への紹介
- ・地域住民への医薬品適正使用に関する啓発活動（出前講座や広報誌等への執筆等）
- ・使用済み注射針の回収